

兵庫県豊岡市但東町

豊岡市立日本・モンゴル民族博物館年報

第23号 (2021年度)

Annual Report of the JAPAN MONGOLIA Folk Museum
No. 23 (for the fiscal years of 2021)

はじめに

2021年度は、開館して25年を迎える節目の年となりました。この間、モンゴル民族の文化・歴史・宗教などの常設展示、日本の文化や歴史、モンゴルに関連した企画展の開催、楽しみながら異文化を学ぶ体験型の博物館としてモンゴル国を紹介してまいりました。

本年度は、開館25周年を記念し、豊岡市にゆかりのある彫刻家「はしもとみお」氏による特別展「くらしといきもの展」を館内すべての展示室を使い開催しました。

日本の暮らしやモンゴル文化の中に、はしもとみお氏の彫刻が融合し、今までにない新たな世界を表現した展覧会となり、多くの来館者を迎えることができました。

その一方で、新型コロナウイルス感染症が昨年度と同様に猛威を振るい、博物館活動も制限を受けました。同様にモンゴル国との往来も制限がかかり、資料鑑定調査を進めることができませんでした。

モンゴル国との交流については、昨年度発足したモンパクグローバルクラブの取り組みの一環で、以前より交流のあるナラン学校とビデオレターやオンラインを通じた新たな交流を模索しています。この交流を大切にし、将来の新たな交流へつなげていきたいと考えます。

今後も子ども達の学習、文化振興の拠点となる日本・モンゴル民族博物館を目指して取り組んでいきます。

おわりに、本年度事業にご協力いただいた関係各位に深く感謝申し上げます。

2022年3月31日

日本・モンゴル民族博物館
館長 坂本 敦子



目 次

I	2021 年度概要	3	10	豊岡市立日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例
II	展覧事業	3	11	施設概要
	1 常設展		12	交通案内
	2 企画展		13	利用案内
III	資料収集保存事業	16		
	1 資料の貸出			
	2 資料の燻蒸			
IV	普及教育事業	16		
	1 出前授業			
	2 来館受入授業			
	3 体験教室、講座の開催			
	4 イベントの開催			
	5 トライやる・ウィークの受入れ			
	6 情報の発信と公開			
	7 その他			
V	国際交流事業	19		
	1 モンゴル国との国際交流			
VI	管理運営	20		
	1 組織・職員			
	2 予算の概要（決算額）			
	3 利用状況			
	4 施設管理			
	5 博物館協力会			
	6 各種委員会委員等の受諾			
	7 博物館ネットワーク			
	8 博物館日誌抄			
	9 お客様の声（抜粋）			

I 2021 年度概要

2021 年度においても、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、休館やイベントの縮小など博物館事業の推進も影響を受けた。

本年度の企画展は、特別展を含め 4 つの企画展を開催し、通算で 84 回を数えました。博物館開館 25 周年を記念した特別展は、コロナ禍にもかかわらず、期間中の入館者は、4,561 人と多くの来館があった。

教育活動においては、例年行う出前授業の要望が多数あったにもかかわらず、新型コロナウイルス感染症の拡大期と重なり、やむを得ず中止となった小学校も多数あり、十分な活動ができなかった。

また、市外小学校からの来館授業も市内小学校と同様に中止となる状況ではあったが、国語授業「スーホの白い馬」に合わせての強い要望により、初めてオンラインによる出前授業を実施した。

昨年度発足させたモンパクグローバルクラブは、参加者も増え、日本とモンゴルの文化を学びながら体験する活動を行った。しかし、クラブの目的の一つでもあるモンゴル国とのつながりを求めた交流は、実現するまでには至っていない。引き続き、交流の方法や手立てを模索していく必要がある。

夏休期間中に開催している博物館教室は、多くの方から参加申し込みがあり、急遽開催回数を増やして実施した。

また、例年開催している「まるごとモンゴル雛まつり」は、感染拡大防止の観点から、イベント会場を資母体育館とし、参加人数を制限する中で 2 日間にわたって開催した。

今後も、文化施設としての役割を自覚し、職員一丸となって、各事業の推進に取り組んでいきたい。

II 展覧事業

1 常設展

(1) 常設展示の構成

博物館の常設展示は、A棟のたんとうの森、B棟のアジアの歴史と風土・モンゴル草原のいのり、C棟のモンゴル草原の暮らしと文化、伝承文化体験交流館の豊岡市たんとうの暮らしから構成されている。

- ①たんとうの森・・・人口樹林を配し、平安時代前期の朽木仏像 5 体を展示
- ②アジアの歴史と風土・・・新石器時代から近代までの歴史資料を展示
- ③モンゴル草原の暮らしと文化・・・ゲルと呼ばれる移動式住居を中心に、衣・食・住など様々なテーマに分けて展示
- ④モンゴル草原のいのり・・・チベット仏教の寺院を再現し、仏像・仏具などを展示

⑤伝承文化体験交流館・・・山里の暮らしと文化をテーマに、豊岡市但東町の歴史・住まい・暮らし・民話などを展示

(2) 常設展の更新

当館では、開館 10 周年に常設展の展示替えを行ったが、その後は、部分的な手直しにとどめている。

収蔵品の鑑定を依頼しており、すべての収蔵品の鑑定が終了した段階で、常設展の展示替えを検討したいと考えている。

(3) 屋外展示

- ① 山羊小屋…屋外の小屋に山羊 1 頭を飼育し公開している。
- ② 騎馬像（チンギス・ハーン） 1 体及び馬像 2 体

(4) 展示解説の積極的な促進

展示資料をより深く理解いただくため、希望者には職員が館内展示の案内・説明を行っている。利用者の興味や目的に沿った分かりやすい解説を心がけている。

(5) 体験型博物館の取組み

楽しみながら学べる体験型の施設を目指し、ゲルとその内部に遊牧民の生活空間を再現し、民族衣装の試着、馬頭琴の演奏体験、また夏休み期間には、ものづくり教室、ハーバリウム教室、羊のマスコットづくり教室なども開催している。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、民族衣装の試着については、現在中止している。

また、企画展に関連したものづくり等のワークショップを年間複数回開催し、子どもを中心に市内外からの参加を得ている。

2 企画展

(1) 第 82 回企画展 「日本とモンゴルの食文化」

会期：2021 年 4 月 25 日～7 月 6 日 49 日間（見学者数 390 人）

休館：2021 年 4 月 26 日～5 月 11 日 14 日間

日本とモンゴルの食文化から、それぞれの国の生活文化や伝統を探り展示解説した。

日本の食文化では、主食である米から、稲作と農耕文化の歴史を「おにぎり」の歴史については、豊岡市立歴史博物館所蔵の古代の食器（出土遺物）を展示紹介した。また、モンゴルの食文化については、肉（赤い食べ物）と乳製品（白い食べ物）を展示し、それぞれの国の食文化の特徴について展示解説した。



古代の稲作と米食文化の紹介

古代の食器





「近世・近代の田植え・稲刈りの様子浮世絵（複製）」
「渡辺うめ人形」



明治初期の田植えの様子を
描いた浮世絵（複製）





モンゴルの現代の食事を紹介



モンゴルの伝統的な食事



モンゴルの酒（アルヒとビール）



モンゴルの馬乳酒造りの道具と乳製品について紹介



馬乳酒を作る革の袋



(2) 第83回企画展 「つむぐ愉しみ・織る喜び～空と草原の布～」

会期：2021年7月11日～10月24日 91日間（見学者数 1,218人）

羊毛で糸をつむぎ、山野の草花で染めた糸で織布する作家鳥飼二美子氏の作品を展示。今回は、モンゴル産の羊毛を使用したストールなど、そのしなやかさと温かさを感じる作品を紹介した。また、かつて但馬ちりめんの産地として栄えた博物館周辺地域の歴史についても資料や写真等で紹介した。



鳥飼二美子氏 モンゴルの羊毛を草木染して制作された作品



鳥飼二美子氏 国産などの羊毛で制作された作品



鳥飼二美子氏 羊毛とシルクを使用した織物と糸ぐるま



但馬ちりめんの紹介

- (3) 開館 25 周年記念特別展「はしもとみおの木彫り～暮らしといきもの展～」
 会期：2021 年 10 月 30 日～2022 年 2 月 1 日 78 日間（見学者数 4,561 人）
 博物館開館 25 周年を記念して、身の周りの動物たちをモチーフに、木彫り作品を生み出す彫刻家はしもとみお氏の特別展
 モンゴルの五家畜を代表するヒツジ、ヤギ、ラクダのほか、私たちの暮らしに寄り添う犬や猫などの木彫り作品を館内の様々な場所で展示し、モンゴル文化との融合を図った展覧会となった。



「はしもとみお特別展 館内展示風景」



物語性のあるクドリャフカの展示室





伝承館ではネコたちの隠れ家を表現



崇高にも見えるオラウータンに祈りの力を感じる作品



海のないモンゴルで海底を思わせる ジュゴンたちのコーナー



新作のコウノトリの彫刻



モンゴルの五家畜を代表するヤギとヒツジがゲルの前でお出迎え



モンゴルを代表する食事に木製バナナやりんごのフルーツも



モンゴルに生息するマヌルネコ

(4) 第84回企画展「地元作家を偲んで～松尾隆が描いた富士の山～」

会期：2022年3月12日～2022年4月19日 17日間（見学者数705人）

地元但東町出身の洋画家故松尾隆氏の遺作展。日本各地をスケッチしながら主に富士山を描いた。今回松尾氏が地域に残した絵画11点を紹介した。

また、企画展を開催するにあたり、作品修復の依頼を受けられた絵画修復師寺田祐吉枝氏によるギャラリートークも併せて開催した。



修復前



ひび割れた絵具の表面の修復作業



修復後

Ⅲ 資料収集保存事業

当館の所蔵資料は、故金津匡伸氏から寄贈を受けたモンゴル国の資料やアジアの考古資料を中心に、旧但東町民俗資料館が収集保管してきた資料、またモンゴル国内や日本各地からの寄贈、寄託及び購入したもので構成されている。

平成 26 年度より、台帳の電子化整備及び資料の調査を進めてきたモンゴル関係資料については、平成 30 年度でほぼ完了した。

令和元年度は、モンゴル国立科学技術大学のラグワスレン教授を招いて、宗教関連分野の資料鑑定調査をおこなった。引き続き 4 年間で約 550 点の鑑定調査を予定していたが、新型コロナウイルス感染症により、モンゴル国との往来ができなくなり、以後実施できていない。

1 資料の貸出

【【団体】】

- ① 京都府福知山市立三和学園
・馬頭琴他 2点

2 資料の燻蒸

全館を対象にピレスロイド系殺虫剤の空中散布、有機リン系殺虫剤の乳剤噴霧をそれぞれ 2 回実施した。収蔵庫（3 ヶ所）内には有機リン系殺虫剤の蒸散剤を 3 回設置して殺虫・防虫処理を行い、害虫、ネズミの点検を毎月 1 回実施した。
委託先：クリーン(有)本店

Ⅳ 普及教育事業

1 出前・来館授業

学校からの依頼に応じて、授業に職員を派遣する出前授業を平成 12 年度から実施している。授業では当館資料を活用して、児童・生徒のモンゴルへの理解が深まるよう努めている。出前授業は、市教育委員会の方針に沿い、市内に限定して現在は実施している。本年度においても新型コロナウイルス感染症の蔓延により、やむを得ず出前授業を中止とした小学校もある。

また、本年度は、養父市内の小学校 2 校からコロナ禍で観覧できないため、オンラインによる出前授業の要望があり、オンライン授業を行った。コロナが落ち着けば、来館授業で、本物の馬頭琴を弾き、デールを試着してほしい。

(1) 小学校

番号	月 日	学 校 名	学年	人数	内 容
1	10 月 4 日	豊岡市立中竹野小学校	2 年	9	モンゴルってどんな国
2	11 月 25 日	豊岡市立城崎小学校	2 年	20	〃
3	11 月 26 日	豊岡市立竹野南小学校	2 年	4	〃

4	1月18日	豊岡市立寺坂小学校	2年	7	〃
5	1月21日	豊岡市立日高小学校	2年	73	〃
6	1月27日	豊岡市立三方小学校	2年	22	〃
7	1月28日	豊岡市立府中小学校	2年	31	〃
8	2月3日	豊岡市立竹野小学校	2年	17	〃
9	2月4日	豊岡市立新田小学校	2年	39	〃
10	2月14日	豊岡市立弘道小学校	2年	33	〃
11	2月22日	豊岡市立田鶴野小学校	2年	22	〃
12	2月15日	豊岡市立八条小学校	2年	46	〃

計 12 校 323 名

2 来館受入授業等

(1) 小中学校・幼稚園

番号	月 日	学 校 名	学年	人数	内 容
1	11月12日	近畿大学附属豊岡中学校	3年	37	館内見学
2	11月25日	京丹後市立網野南小学校	2年	35	モンゴルってどんな国
3	12月6日	豊岡市立資母認定こども園	園児	38	館内見学
4	12月10日	豊岡市立資母認定こども園	園児	9	〃
5	12月10日	豊岡市立資母小学校	4.6年	15	〃
6	12月14日	豊岡市立資母小学校	5年	20	〃
7	1月21日	京丹後市立たちばな小学校	2年	18	館内見学
8	2月7日	養父市立大屋小学校(注1)	2年	21	モンゴルってどんな国
9	3月9日	養父市立広谷小学校(注1)	2年	21	〃
10	3月11日	豊岡市立資母小学校	2年	11	〃

注1：オンライン授業

計 10 校園

225 名

3 体験教室・講座の開催

(1) 体験教室

教 室 名	実施回数	参加人数	備 考
フラワーバーバリウム教室	14	75	通年
モザイク教室	1	9	夏休み教室
ミニハーバリウム教室	1	10	
羊のマスコット教室	2	9	
モザイク教室	1	15	
羊のマスコット	1	20	パスポートのいらないモンゴル
羊の毛をつむぐ	2	21	企画展関連ワークショップ
羊の毛を織る	3	31	
みお先生のスケッチ教室	1	27	

羊のマスコット	2	145	まるごとモンゴル雛まつり
ハーバリウム	2	38	
計	30	400	

4 イベントの開催

(1)まるごとモンゴル雛まつり 2022年3月12日(土)、13日(日)

新型コロナウイルス感染対策の観点から、イベント会場を資母体育館とし、人数制限を行い2日間開催した。

5 トライやる・ウィークの受入れ

但東中学校より4名の希望者があり受け入れを行った。



6 情報の発信と公開

博物館の存在や博物館活動等に関する情報を発信していくことは、入館につながる重要な活動であり、市民文化の振興と文化活動の拠点づくりにつながると考えている。

今後も、博物館のさまざまな情報を市広報や各種メディア、SNS等を通して、積極的に発信するよう努めていく。

(1) 博物館の広報活動

① 企画展チラシ等の配布先

市内の各小学校、地区コミュニティセンター、振興局、県博物館美術館協会加入の博物館美術館、道の駅、近隣市町及び報道機関など。

② 報道機関、への情報・資料提供

(2) インターネット等による情報発信

市広報や企画展ポスター等だけでなく、インターネットやSNSなどによる情報発信の強化が更に重要となっている。

博物館もホームページやフェイスブック、インスタグラムで情報発信を行っている。

<http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html>

<https://www.facebook.com/monmuseum>

ホームページ・フェイスブック・インスタグラムの更新は、催し物案内など定期的に行うもののほか、多様な情報掲載を随時行うよう努めている。

(3) フリーペーパーへの掲載

新たな取り組みとして、特別展のフリーペーパーへの掲載依頼を行った。掲載されたことにより、近隣市町からの入館者の増加につながったと思われる。今後も、引き続き様々なフリーペーパーの活用を図っていきたい。

7 その他

(1) 文化財等保護活動

現在、保護活動等は行っていない。

V 国際交流事業

1 モンゴル国との国際交流

前年度に引き続き、世界的に新型コロナウイルス感染症が流行し、海外との渡航制限が続いている。

モンゴル国との受入派遣交流に代る新たな取り組みとして、モンゴルの文化と日本の文化を対比しながら、五感を使って様々な博物館活動を体験することを目的としたモンパクグローバルクラブの活動は2年目に入った。

(1) モンパクグローバルクラブ

参加数 8家族 20人 活動回数 6回



(2) 草原の風 モンゴル祭り 大阪 2021 (モンゴル秋祭り)

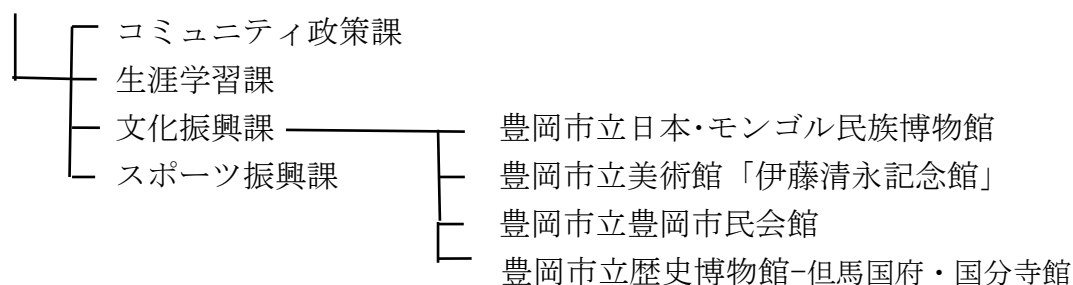
モンゴル秋祭りは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため昨年につき、中止となった。

VI 管理運営

1 組織・職員 (2022年3月31日現在)

(1) 組織

豊岡市地域コミュニティ振興部



顧問 (福田芳郎)

⋮

館長

(坂本 敦子)

主 幹 (道下 一)

会計年度任用職員 (朝倉 由美)

会計年度任用職員 (伊崎 文彦)

会計年度任用職員 (柴田 明子)

会計年度任用職員 (ジャルガルサイハン ラマー)

博物館協力会

(2) 職員

館 長 坂本 敦子 (2019年4月～)

(会計年度任用職員)

主 幹 道下 一 (2014年4月～)

会計年度任用職員 (学芸員) 朝倉 由美 (2013年4月～)

会計年度任用職員 (学芸員) 伊崎 文彦 (2015年4月～)

会計年度任用職員 (管理員) 柴田 明子 (2001年4月～)

会計年度任用職員 (事務補助) ジャルガルサイハン ラマー (2020年5月～)

2 予算の概要 (決算額) 単位:千円

[人件費] 22,035

① 報 酬 9,286

② 給 与 4,461

③ 職員手当等 5,060 (扶養手当 120、通勤手当 834、時間外勤務手当 286、
期末手当 3,044、勤勉手当 776)

- ④ 共済費 3,228
 [管理費] 6,687
- ① 需用費 3,722 (消耗品費 395、燃料費 102、光熱水費 2,972、修繕料 240、飼料費 13)
- ② 役務費 392 (通信運搬費 319、手数料 14、保険料等 59)
- ③ 委託料 2,078 (電気保安点検 219、自動ドア点検 59、消防施設点検 36、芝生管理 110、清掃管理 313、警備 264、電気使用料監視 55、資料燻蒸 110、除雪 911)
- ④ 使用料 485 (自動車借上料 340、土地借上料 12、機器借上料 29、用品借上料 59、テレビ視聴料 30、通行料 15)
- ⑤ 負担金 10 (負担金 10)
- [事業費] 3,175
- ① 報償費 1,090 (講師謝礼 1,090)
- ② 旅 費 173 (普通旅費 173)
- ③ 需用費 1,000 (消耗品費 559、食糧費 19、印刷製本費 249、修繕料 173)
- ④ 役務費 859 (通信運搬費 850、保険料 9)
- ⑤ 使用料 53 (用品借上料 3、機器借上料 50)

3 入館者状況

入館者は、2022年3月末で、開館以来延べ469,420人となった。2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け開館日数は291日、入館者数7,525人（前年比52.6%増）と特別展の開催で前年を大きく上回った。今後も、新型コロナウイルス感染拡大防止に注意しながら、ワークショップの開催や夏休み教室の充実など、博物館活動の積極的な推進を図るとともに、さまざまな情報発信による集客に努めていく必要がある。

【2018年度（平成30年度）（開館日：307日）】

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力会地区	23	18	50	18	46	36	35	47	16	28	23	40	380
一 般	412	306	100	108	273	211	335	239	126	110	152	452	2,824
高、大	6	8	2	5	24	7	0	2	3	4	11	15	87
小、中	32	13	7	14	46	15	5	10	2	8	15	171	338
その他	2,060	233	457	171	394	199	347	1,384	176	612	640	550	7,223
計	2,533	578	616	316	783	468	722	1,682	323	762	841	1,228	10,852
1日平均	90	22	24	12	30	18	28	65	14	33	35	45	35

【2019年度（令和元年度）（開館日：311日）】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力会地区	28	41	36	22	32	105	34	37	28	37	22	31	453
一般	436	331	145	196	213	197	179	156	92	157	202	149	2,453
高、大	11	9	0	3	12	4	1	1	5	5	16	23	90
小、中	43	43	3	14	40	9	5	6	5	9	31	30	238
その他	2,652	311	260	232	322	295	245	1,094	79	593	655	243	7,010
計	3,170	735	444	467	619	610	464	1,294	238	801	926	476	10,244
1日平均	109	27	17	17	22	23	17	49	10	34	37	17	32

【2020年度（令和2年度）（開館日：270日）】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力会地区	8	6	8	17	7	10	10	12	18	5	3	10	114
一般	11	36	117	190	203	189	161	178	103	46	254	355	1,843
高、大	0	0	0	15	37	3	3	3	3	0	4	16	84
小、中	5	4	14	39	64	22	12	15	6	7	107	146	441
その他	75	47	160	284	188	147	214	142	135	274	482	333	2,481
計	99	93	299	545	499	371	400	350	265	332	850	860	4,963
1日平均	16	7	11	20	18	14	15	13	11	14	35	33	18

【2021年度（令和3年度）（開館日：291日）】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力会地区	5	4	4	8	2	7	6	4	3	1	3	0	47
一般	189	65	73	141	295	104	289	1,077	446	1,439	176	412	4,706
高、大	1	1	2	2	9	3	10	15	15	21	1	7	87
小、中	19	7	9	33	67	9	31	70	15	97	33	167	557
その他	58	21	122	126	145	91	198	363	245	410	94	255	2,128
計	272	98	210	310	518	214	534	1,529	724	1,968	307	841	7,525
1日平均	12	6	8	12	19	9	23	59	32	75	14	33	26

4 施設管理

(1) 芝生管理

敷地内に広がる芝生管理は、豊岡市シルバー人材センター、ワークホーム大地に年間3回委託し実施した。シルバー人材センターは、毎年ボランティア活動として、博物館周辺の除草作業を行っていただいている。

また、委託分のみでは十分でないため、当館職員も随時、除草作業を行っている。

5 博物館協力会

博物館協力会は、当館が位置する資母地区住民の呼びかけで、平成9年2月10日に発足した。会長は、博物館が位置している如布区長がこれにあたり、周辺地域の区長・役員や各団体の長が理事となっている。加えて、但東地域居住の市議会議員及び協力会元会長が顧問となる役員構成になっている。

(1) 役員

会 長 宮垣 弘司

副会長 2名 理事 10名 顧問 4名

任期：2021年4月1日～2022年3月31日

(2) 活動内容

① 役員会の開催

2021年7月16日に役員会を開催し、博物館の事業報告・事業計画などの説明と運営に対しての協力依頼を行った。

② 各種事業への協力

企画展をはじめ、まるごとモンゴル雛まつりなど当館事業のPRや参加にご協力をいただいた。

③ 協力会のあり方について協議

役員1年任期や会員構成について、2回にわたり検討会を開催した。知識経験者や女性の参加を得て議論を進めたが、地域コミュニティとの関連も重要であるとの認識から、今後再検討することとなった。

6 各種委員会委員などの受諾

但馬地域博物館連絡会 会長

7 博物館ネットワーク

(1) 兵庫県博物館協会

兵庫県内の博物館・美術館・資料館で構成され、2022年3月末で144館が加盟し、県立歴史博物館が事務局館を務めている。

・2021年6月3日（金） 兵庫県博物館協会 （オンライン開催）

・2021年6月3日（金） 研修会

「これからの博物館—博物館法改正について」 （オンライン開催）

・2022年2月17日（木） 研修会

「博学連携について—ひとはくと高等学校との連携を通して—」
（オンライン開催）

・協会ホームページで夏休み子ども向けイベントの紹介

- 6月27日 企画展ギャラリートークと実食会（9名参加）
- 7月5日 館内会議
- 7月7日 企画展展示替え
- 7月11日 第83回企画展「つむぐ愉しみ・織る喜び～空と草原の布～」
- 7月16日 博物館協力会（坂本、道下）
- 7月22日 ひつじの毛でコースターを織ろう（6名参加）
- 7月21日 シルバー人材センターボランティア草刈作業（坂本、道下、朝倉）
- 7月23日 アート縁日（市民プラザ 道下、朝倉、伊崎）
- 7月25日 モンパクグローバルクラブ（18名参加）
- 7月29日 羊の毛を織る（ワークショップ）（11名参加）
- 7月30日 但馬博物館連絡会総会（坂本、道下）
- 7月30日 キュレーターミーティング（朝倉、伊崎）
- 7月31日 羊の毛を紡いで糸をつくる（ワークショップ）（10名参加）
- 8月1日 夏休み教室（14名参加）
- 8月2日 館内会議
- 8月7日 羊の毛を織る（ワークショップ）（11名参加）
- 8月8日 夏休み教室（21名参加）
- 8月10日 羊の毛を紡いで糸をつくる（ワークショップ）（11名参加）
- 8月12日 ハーバリウム教室（朝倉 資母コミュニティ4名参加）
夏休み教室（3名参加）
- 8月20日 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言（～9/20）
- 8月24日 ハーバリウム教室（朝倉）
- 9月3日 館内会議
- 9月4日 蚕の里（養父市大屋町 朝倉、伊崎）
- 9月6日 但馬博物館等連絡会研修会調整（シーズン 坂本、道下、朝倉）
- 9月11日 ハーバリウム教室（朝倉 2名参加）
- 9月12日 来年度企画展調整（朝倉、伊崎）
- 9月12日 ハーバリウム教室（朝倉）
- 9月21日 館内会議
- 9月30日 博物館協力会見直し検討会（坂本、道下、朝倉）
- 10月2日 モンパクグローバルクラブ（全員）
- 10月8日 館内会議
- 10月15日 但馬博物館等連絡会研修会（日和山シーズン 坂本、道下、伊崎）
- 10月25日～29日 企画展展示替えにつき臨時休館
- 10月30日 開館25周年記念式典
特別展～はしもとみおの木彫り「くらしといきもの展」～
「みお先生のスケッチ教室」講師：彫刻家はしもとみお氏
- 10月31日 合橋小学Pモザイク画（柴田）
- 11月8日 館内会議

- 11月12日 博物館協力会見直し検討委員会（坂本、道下、朝倉）
- 11月20日 予算協議（本庁 坂本、道下）
- 11月20日 パスポートのいらないモンゴルへ行こう（観光イノベーション関連事業）
- 11月21日 モンパクグローバルクラブ（お話の国～馬頭琴の音色にふれて）
- 11月23日 ハーバリウム教室（朝倉）
- 11月25日 次年度企画展調査（養父市 伊崎）
- 12月2日 部内会議（本庁 道下）
次年度企画展資料調査（加古川 伊崎）
- 12月5日 ハーバリウム教室（朝倉）
- 12月6日 館内会議
- 12月17日 博物館協力会見直し検討会報告（坂本、道下）
- 12月18日 ハーバリウム教室（朝倉）
- 12月20日 政策費財政課ヒアリング（本庁 坂本、道下）
- 12月24日 キュレーターミーティング（歴博 伊崎）
- 12月26日 モンパクグローバルクラブ大雪警報発令のため中止
- 1月1日～3日 お正月特別開館
- 1月7日 館内会議
- 1月20日 キュレーターミーティング（当館 朝倉、伊崎）
- 1月20日 ハーバリウム教室（朝倉）
- 2月1日 キュレーターミーティング（美術館 朝倉）
- 2月2日～5日 展示替えにつき臨時休館
- 2月11日 ハーバリウム教室（朝倉）
- 2月14日 館内会議
- 2月16日 多摩美術大学・東京芸術大学教授来館（朝倉）
- 3月1日 館内会議
- 3月7日 寺田祐吉枝氏来館（絵画修復）
- 3月11日 ひなまつり準備
- 3月12日 第84回企画展「地元作家を偲んで～松尾隆が描いた富士の山～」
ギャラリートーク「地域と文化を守ること～絵画の修復について～」
絵画修復家 寺田祐吉枝氏
まるごとモンゴル雛まつり
- 3月13日 まるごとモンゴル雛まつり
- 3月19日 モンパクグローバルクラブ
- 3月22日～23日 次年度企画展協議協議（東京 朝倉、伊崎）
- 3月26日 キュレーターミーティング（歴博 伊崎）

9 お客様の声（抜粋）

以下は、2021年度の来館者の声を抜粋したもので、博物館職員として真摯に受け止め、今後の運営に生かしたいと考えている。

◎4月16日 京都府京丹後市網野町（20代 女性）

子供も楽しく見れた。囲炉裏の場所で本も読めて満足です。モンゴルのゲルが一番楽しかったです。

◎4月16日 京都府京丹後市峰山町（20代 男性）

モンゴルの衣装の試着をコロナが落ち着いたら復活させてほしい。写真スポットがあればいいなと思いました。

◎4月30日 （30代 男性）

佐賀県のモンゴル系の博物館より良かった。近年更新している展示物があればそこをアピールしたほうが良い。

◎5月30日 京都府京丹後市（40代 女性）

企画展では、日本の歴史と関連づけられていてわかりやすかった。展示の内容は、学校の授業だけではわからない内容でとても良かった。もし、小中学校で博物館を見学していたら学習の理解も深まりより良いのではと感じました。大人になっても学びを継続できる機会となりました。

◎11月6日 奈良県北葛城郡（30代 女性）

はしもとみおさんの特別展は、モンゴルの文化と混在してとても良かった。図書コーナーも良いと思うが、小人はちょっと合わないかも。

◎11月11日 大阪府池田市（50代 女性）

モンゴル文化やチベット仏教に関する展示も勉強になりました。

◎11月23日 兵庫県養父市（30代 女性）

とても見ごたえがありました。未就学児の子どもも一緒に楽しめる展示で良かったです。常設展の展示の雰囲気ともあってどちらも楽しめました。

◎12月13日 京都府舞鶴市（30代 男性）

元寇の新たな見識が得られた。本物のゲルを見ることができ、貴重な体験だった。チベット仏教のコーナーも馴染みのない空間でとても新鮮でした。

◎12月18日 滋賀県東近江市（30代 女性）

モンゴルの歴史や文化を知ることができた。はしもとみおさんの作品を探しながら、モンゴルの文化に触れることができ、大人も子どもも楽しめる展示でとても良かったです。

◎2月13日 兵庫県美方郡（60代 女性）

とても暖かさを感じる良い施設ですが、トイレが良くないです。温便座に取り換えるべきだと思います。

◎2月26日 京都府京丹後市（10代 女子）

学校の授業で学習し来館しました。モンゴルの生活が知れて良かった。

モンゴルの楽器は、馬頭琴だけではないことや、楽器が動物でできているものが多いことも分かりました。もっと知りたいです。

◎ 3月 27日 兵庫県豊岡市 (10代 女子)

学校の授業で知って来ました。馬頭琴や動物たちも初めて見てすごいなと思いました。ゲルは思ったより広くて、いつも通り生活できるようになっていたの凄いなあと思いました。

10. 豊岡市立日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例

平成17年4月1日

条例第179号

改正 平成19年12月26日条例第66号

平成26年3月28日条例第8号

平成27年3月27日条例第14号

令和元年12月25日条例第26号

(設置)

第1条 市民文化を振興し、文化活動の拠点とするとともに、モンゴル文化及び郷土の生活文化の紹介、体験交流等を通して魅力ある地域づくりを図るため、豊岡市立日本・モンゴル民族博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

(位置)

第2条 博物館の位置は、豊岡市但東町中山711番地とする。

(事業)

第3条 博物館は、第1条に規定する目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 博物館の資料の収集、保管及び利用に関すること。
- (2) 博物館の資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (3) 博物館の施設の利用に関すること。
- (4) 博物館の資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導をすること。
- (5) 博物館の資料に関する専門的及び技術的な調査研究に関すること。
- (6) 他の博物館等との相互協力に関すること。
- (7) 郷土の生活文化の紹介及び体験交流に関すること。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な事業

2 市長は、博物館の施設を、前項の事業の実施に支障のない限りにおいて、その目的以外の目的のために使用させることができる。

(職員)

第4条 博物館に、館長その他職員を置く。

(観覧料)

第5条 博物館に展示している資料を観覧しようとする者は、別表第1に定める額の観覧料を納付しなければならない。

(特別観覧料)

第6条 博物館に展示し、又は保管している資料について学術研究等のために模写、模造、撮影等をしようとする者は、市長の許可を受け、1点1回につき2,000円の範囲内で規則で定める額の特別観覧料を納めなければならない。

(使用の許可)

第7条 別表第2に掲げる施設を使用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、前項の許可に博物館の管理上必要な条件を付

し、又はこれを変更することができる。

(許可の基準)

第8条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第1項の許可をしてはならない。

- (1) 博物館の施設の使用が公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) 博物館の施設の使用が博物館の建物、器具、備品等（以下「建物等」という。）を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがあると認めるとき。
- (3) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団その他反社会的団体又はそれらの構成員が使用すると認めるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、市長がその使用を不相当であると認めるとき。

2 市長は、博物館の管理上又は公益上支障があると認めるときは、前条第1項の許可をしないことができる。

(使用権の譲渡等の禁止)

第9条 第7条第1項の規定により施設の使用の許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、その権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(許可の取消し等)

第10条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、許可を取り消し、又は施設の使用の制限をし、若しくは使用の停止を命ずることができる。

- (1) 使用者がこの条例若しくはこの条例に基づく規則又はこれらに基づく指示に違反したとき。
- (2) 使用者が許可された使用目的以外の目的に施設を使用したとき。
- (3) 使用者が許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 使用者が詐欺その他不正の行為により許可を受けたとき。
- (5) 第8条第1項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

2 市長は、博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたときは、使用者に対し、前項に規定する処分をすることができる。

(使用料の徴収)

第11条 市長は、第7条第1項の許可を受けてする施設の使用につき、使用者から、別表第2に定める使用料を徴収する。

(観覧料等の減免)

第12条 市長は、公益上特に必要があると認めるときは、申請により、観覧料、特別観覧料及び使用料（以下「観覧料等」という。）を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第13条 既に納めた観覧料等は、還付しない。ただし、第10条第2項の規定により市長が博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたとして同条第1項に規定する処分をしたとき、その他市長が特別の理由があると認

めるときは、申請により、その全部又は一部を還付することができる。

(入館の制限等)

第14条 市長は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、博物館への入館を拒絶し、又は博物館からの退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがある者
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある物品若しくは動物の類を携帯する者
- (3) 建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがある者
- (4) 前3号に掲げるもののほか、博物館の管理上必要な指示に従わない者

(行為の禁止)

第15条 何人も、博物館内において、博物館の管理上支障がある行為をしてはならない。

(原状回復の義務)

第16条 使用者は、博物館の施設の使用を終了したとき、又は第7条第1項の許可を取り消されたときは、直ちに施設を原状に回復しなければならない。

- 2 市長は、使用者が前項の義務を履行しないときは、その原状回復に必要な措置を採るべきことを命ずることができる。

(損害の賠償等)

第17条 博物館の建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させた者は、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長は、特別の事情があると認めるときは、その賠償額を減額し、又はこれを免除することができる。

(委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。
(経過措置)
- 2 この条例の施行の日の前日までに、合併前の日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理運営に関する条例(平成8年但東町条例第21号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

(観覧料の特例)

- 3 第5条の規定は、平成17年4月1日から平成18年3月31日までの間においては、合併前の出石郡但東町の区域に居住する者が博物館を観覧するときは、適用しない。

附 則(平成19年12月26日条例第66号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。
(経過措置)
- 2 この条例による改正後の日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例別表第2の規定は、この条例

の施行の日以後に使用許可を受ける者の使用料について適用し、同日前に使用許可を受けている者の使用料については、なお従前の例による。

附 則(平成26年3月28日条例第8号)抄
(施行期日)

- 1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成27年3月27日条例第14号)

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(令和元年12月25日条例第26号)

(施行期日)

- 1 この条例は、令和2年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例による改正後の豊岡市立日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例の規定は、この条例の施行の日以後に許可を受ける使用について適用し、同日前に許可を受けている使用については、なお従前の例による。

別表第1（第5条関係）

区分	観覧料（1人1回につき）		備考
	個人	20人以上の団体	
一般	500円	400円	「一般」とは学生、中学生又は小学生以外の者で、15歳以上のものをいい、「学生」とは大学、高等学校及びこれらに準ずる学校の学生及び生徒をいう。
学生	300円	240円	
小学生中学生	250円	200円	

別表第2（第7条、第11条関係）

区分	使用料		
	午前9時から午後零時まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後10時まで
企画展示室	1,600円	2,100円	
体験交流室	1,300円	1,700円	1,700円
天幕住居（ゲル）	1基につき5,300円		
備考 冷暖房を使用する場合は、この表に規定するそれぞれの額の3割に相当する額を加算する。			

11. 施設概要

(1) 本館建設概要

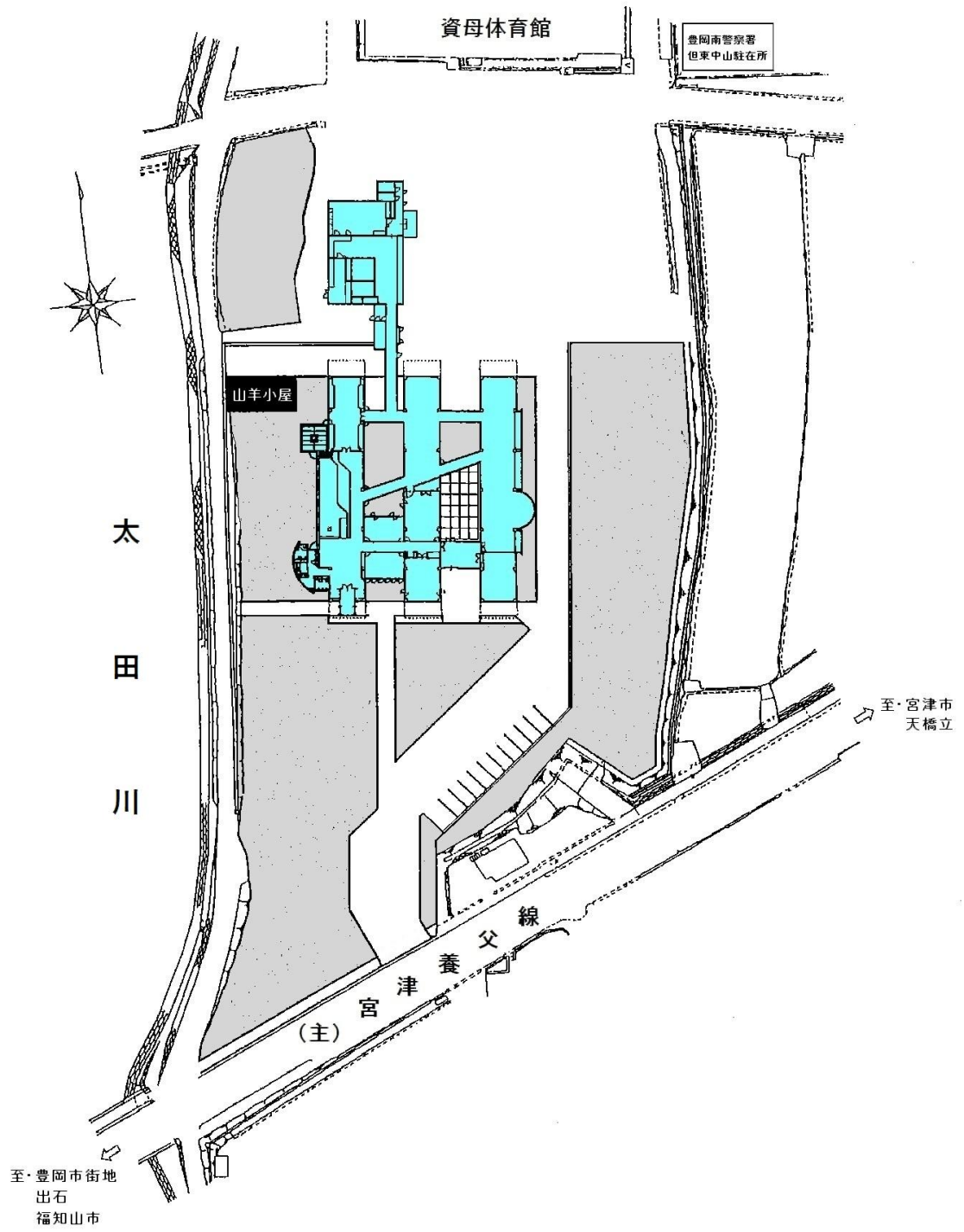
位 置	兵庫県豊岡市但東町中山711
基本設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
実施設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
工事施工	建物 川嶋・井田・マルテン特別共同企業体 展示 株式会社さんよう
工 期	建物 着工 平成7年12月14日 竣工 平成8年8月12日 展示 着工 平成8年5月7日 竣工 平成8年10月30日
敷地面積	10,402.84㎡
建築面積	999.65㎡
構造概要	鉄筋コンクリート造 フッ素樹脂塗装鋼板瓦葺葺 立体トラス鉄骨 (KTトラス)
各室面積	玄関ホール・たんとうの森/211.6㎡、収蔵庫1/54.6㎡、収蔵庫2/56.5㎡ 荷解室/33.3㎡、応接室/28.0㎡、事務室/33.3㎡、資料整理室/48.2㎡ 展示室「アジアの歴史」/75.7㎡ 展示室「モンゴル草原の暮らしと文化」/206.8㎡ 展示室「チベット仏教」/37.7㎡ 企画展示室/74.4㎡ シルクロード回廊1/13.3㎡、シルクロード回廊2/13.3㎡、シルクロード回廊3/12.6㎡、シルクロード回廊4/12.6㎡

建物規模	平屋建て/東西41.8m、南北42.5m 地上高9.0m
仕 上 げ	<外装>複層吹付 <内装>床/モルタル下地タイルカーペット貼 壁/山本窯業化学テラックス、石膏ボード、化粧合板 天井/杉小幅板、岩綿吸音板貼

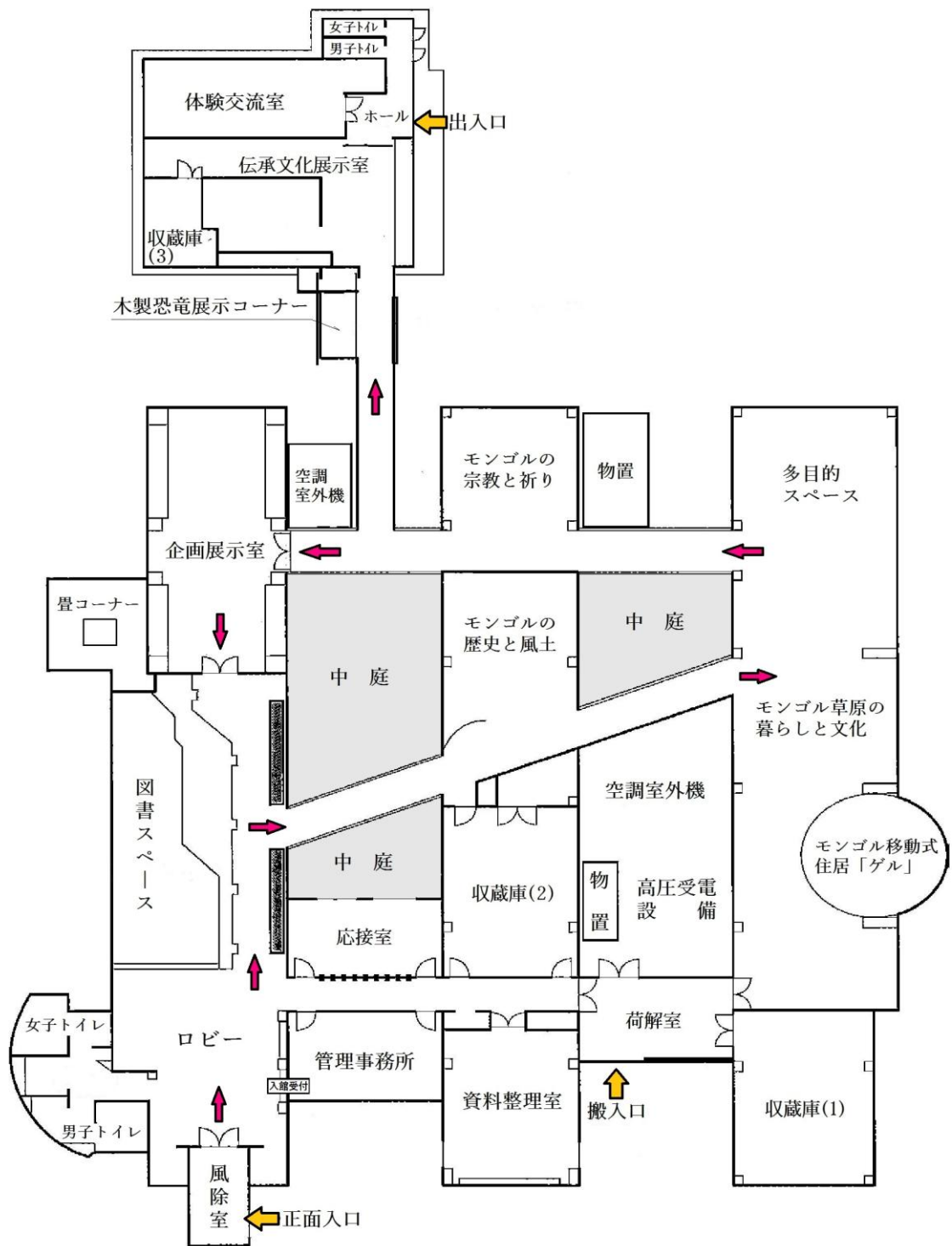
(2) 伝承文化体験交流館建設概要

位 置	兵庫県豊岡市但東町中山711
基本設計	建物・展示/井上良一建築設計事務所
実施設計	建物・展示/井上良一建築設計事務所
工事施工	建物/株式会社マルテン 展示/株式会社ナギサ建築工芸
工 期	建物・展示/着工 平成11年9月14日 竣工 平成12年3月29日
敷地面積	317.57㎡
構造概要	一部鉄筋コンクリート造、木造瓦葺
各室面積	体験交流室/62.6㎡、展示室「豊岡市たんとうの暮らしと文化」/112.5㎡、シルクロード回廊5/36.4㎡、収蔵庫/27.2㎡
建物規模	平屋建て/東西12.8m、南北21.2m 地上高7.1m
仕 上 げ	<外装>押出形成セメント板 <内装>床/モルタル下地タイルカーペット貼 壁/ビニルクロス貼、一部杉板貼 天井/化粧PB貼、一部杉板貼

(3) 配置図



(4) 館内図



12. 交通案内



- JRで（山陰線）
豊岡駅よりバスで約60分 出石で乗り換え（奥藤行き）モンゴル博物館前下車
- お車で
大阪・神戸方面…舞鶴若狭自動車道
福知山ICより約55分
京都方面…京都縦貫自動車道～宮津与謝道路
与謝天橋立ICより25分
姫路方面…播但連絡道路～北近畿豊岡自動車道 和田山八鹿道路 八鹿氷ノ山ICより約45分

13. 利用案内

- 開館時間 9時30分～17時
(入館は16時30分まで)
- 休館日 水曜日（祝日の場合は翌日）
年末年始（12月28日～1月4日）
展示替えによる臨時休館
- 入館料 一般 500円（400円）
高校 大学生 300円（240円）
小学 中学生 250円（200円）

※（ ）内は20名以上の団体の場合
 ※障害者手帳をお持ちの方は各料金の半額
 ※兵庫県内の小・中学生はココロンカードの提示により無料